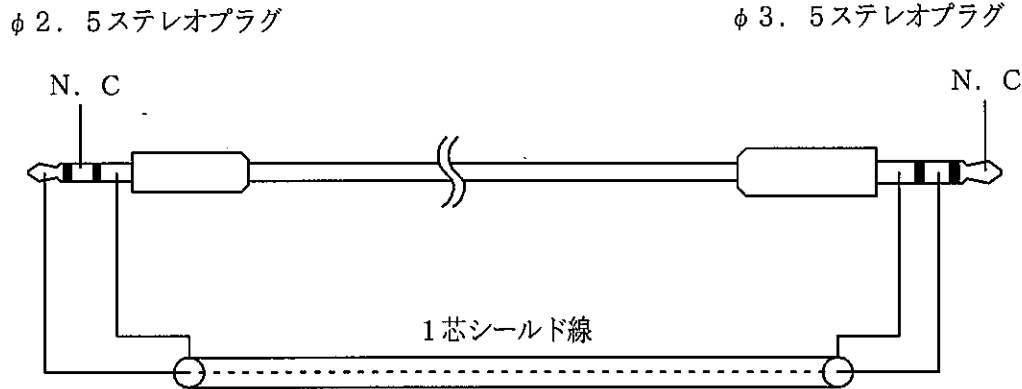
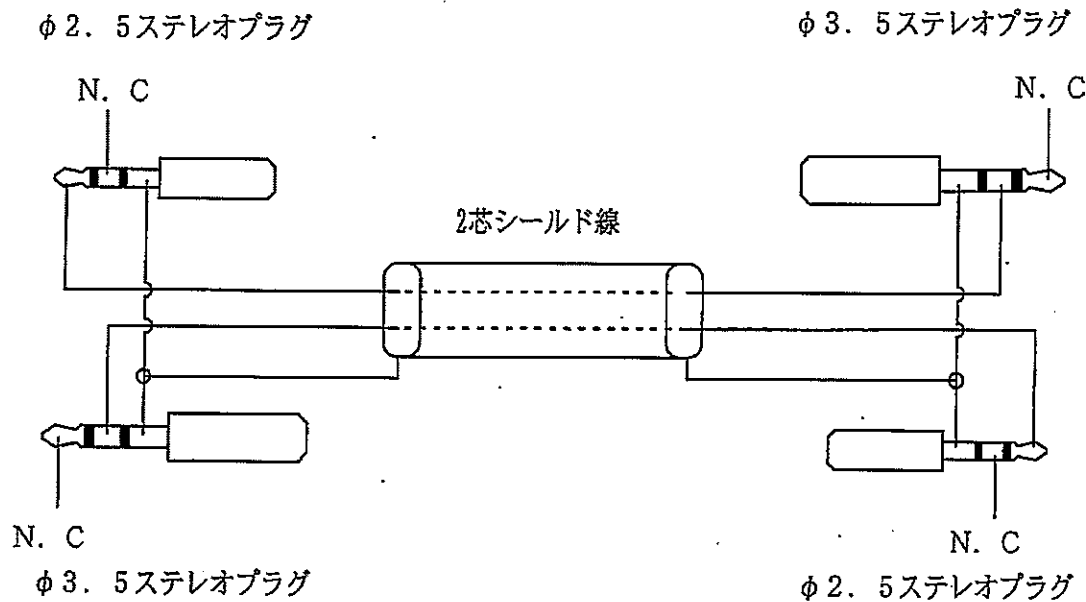
DJ-R20D/R100D レピーターケーブル仕様書

（＊N.C＝ケーブルに接続せず、空けたままにして下さい）

この度は弊社DJ－R20D/R100D型特定小電力無線機をお買い求め頂き誠に有難う御座います。本機の連結中継機能をお使い頂く為の接続ケーブル（レピーターケーブル）について以下ご説明致します。

1：レピーターケーブルは1セットで2本必要です。弊社オプションアクセサリーのADUA－78は80cm長のケーブル２本セットです。

2：ケーブルセットを自作される場合、市販のオーディオ機器用等に汎用されている太さ（2－3mm径）の１芯シールド線をお使い下さい。電子機器内部に使用する細いものは減衰量が大きくなり使用出来ない場合が有ります。

3：ケーブル長は任意です。設計時に200m長まで動作確認していますが、ご使用になるケーブルの太さや長さ、無線機の設置場所等の条件により動作の安定性、通信距離に変化が出る事が有ります。実際のご使用にあたっては事前に実地で通信テストを行なってからシステム全体の最終的な配線・設置をされることを強くお勧め致します。又、ケーブルが長くなる場合はプラグ部分に直接ケーブルの重量負担が掛からないように考慮して下さい。

※ ２芯シールド線１本を使う加工の例

参考:同時通話レピーター運用時のご注意

１、電源ケーブルと中継ケーブルは束ねず、伸ばしてください。
　　束ねて使用されますと、電波の回り込み、雑音発生の原因となります。
　　無線機から雑音が聞こえる場合、各ケーブルの引き回しを変えることにより軽減することがあります。

２、チャンネル、グループコードは下記をお試しください。
　　こちらで検証した際のチャンネル、グループコードです。

３、中継機と子機は、至近距離で使用しないでください。１０m以上離してください。
　　お互いの電波の影響を受け合い、動作が不安定になります。